

令和7年度 入学式 式辞

春風がやわらかに吹き抜け、桜の花がその美しさを競い合うように咲き誇る本日ここに、ご来賓並びに多数の保護者の皆さま方をお迎えし、入学式を挙行できますことは、私たち教職員にとりまして、大きな喜びでございます。

今ほど、入学を許可いたしました160名の皆さん、入学おめでとう。そして保護者の皆さま、ご家族の皆さま、おめでとうでございます。心よりお祝い申し上げます。

本校は、平成7年、インターネットや携帯電話が普及し、社会の仕組みや人々の価値観が大きく変化する中、石川県で初めて設立された総合学科高校として、多様なニーズに応える教育を進め、進学にも就職にも対応した取り組みを続けてきました。令和5年には、前身である金沢松陵工業高校時代を含め、創立60周年という節目を迎え、さらに新たな歴史を刻み続けています。

本校では、1年次で全員が共通の教科と科目を学び、基礎をしっかりと固めます。そして2年次からは「進学」「工業」「ビジネス」「生活・福祉」の4つの学習系列に分かれ、それぞれの進路に応じた多様な選択科目を自由に選び、より専門的に学んでいきます。他にも、部活動や学校行事、そして地域のボランティア活動など、多彩な経験を積むこともできます。

高校生活は、自分自身の夢や目標を形にしていくための時間です。

その大切な時間を夢の実現につなげていくためには、次の3つのことに、真剣に取り組むことが大切だと思います。

1つ目は、「将来の目標を持つ」ことです。進学や就職、そしてその先にどのような仕事に就きたいのか、皆さん自身の将来をしっかりと考えてください。大きな目標でなくても構いません。小さなきっかけや興味からでも、自分の目標を描き始めてください。

2つ目は、「目標達成に必要な資質やスキルを見つける」ことです。高校生活では、たくさんの授業や活動があります。その中で自分に合った分野や得意なことを見つける努力をしてください。どんな能力が必要なのかを考え、そのスキルを伸ばしていく方法を探しましょう。

3つ目は、「見つけたスキルを身につけるための計画を立て実行する」ことです。この3年間、どのように学び、成長していくかを自分なりに計画し、それに向かって一歩ずつ進んでいきましょう。

創立以来掲げてきた「不撓不屈」の精神。この言葉には、どのような困難や挑戦にも負けず、力強く前進し続ける精神が込められています。

先ほどの3つの課題に取り組む中で、時に迷い、失敗やつまずくこともあるでしょう。しかし、失敗を恐れずに一歩ずつ踏み出し、何事にも果敢に何度も取り組んでいく中で、

自分自身の可能性が広がり、充実した人生が形作られていきます。そしてこの積み重ねが、皆さんにとって「自分自身の幸せ」や「生きがい」を見つける土台となるだけでなく、友人、家族、そして地域社会に温かな影響を広げる力にもなります。皆さんの行動が、自分の住む町やこの社会を少しでもより良い場所に変えていく、そのような未来を考えることができる人になってください。私は、皆さんが、たくさんの経験を重ね、それぞれが持つ可能性を大きく広げていくことを心から期待しています。

さて、話は変わりますが、令和6年の年明けに発生した能登半島地震について触れさせていただきます。この地震は、突然前振れもなく起こった出来事でした。本校においても、これまで経験したことのないほどの大きな被害が発生し、多くの困難に直面しました。

しかし、そのような中でも、私たちは多くの方々から寄せられた温かいご支援や励ましにより、大きな力をいただくことができました。本校の困難を知り、手を差し伸べてくださった多くの方々のおかげで、確実に復旧への歩みを進めることができます。深い感謝とともに、この経験を通じてともに助け合う「共助」の大切さを改めて実感しております。

こうした周囲の状況や周りの人のことを考えて行動できることやお互いに協力して支え合うことは、新しい一歩を踏み出す皆さんにとっても、困難な状況を乗り越えるための大切な価値観であり、新しい人間関係を築き、絆を深めていくためにも大切なことです。ぜひ心にとどめてください。

ご来場の保護者の皆さま、ご家族の皆さま、改めてお子様のご入学、誠におめでとうございます。高校生活は知識を深めるだけでなく、心の成長を促す貴重な時間でもあります。この過程を実りあるものとするためには、ご家庭と学校が密に手を携え、協力していくことが何より重要です。どうか、皆様には温かいまなざしでお子様の成長を見守り、励ましの言葉をかけていただきますようお願い申し上げます。教職員一同、全力でサポートに努めてまいります。どうぞこれからの3年間、よろしくお願い申し上げます。

最後に皆さん。皆さんが夢の実現に向け、自分自身を信じ、挑戦し続ける気持ちを大切に、充実した高校生活を送れることを心からお祈りし、式辞といたします。

令和7年4月8日

石川県立金沢北陵高等学校 校長 浅尾 幸代